

# 西川町 議会だより

2026

No.135

1.15



新年のごあいさつ.....	2頁
第4回定例会 .....	3
6人の議員が町政をたず.....	6
特集ハラスメント疑惑調査特別委員会...	10
事務事業評価 .....	12
議会活動の成果を政策提言に.....	14
突撃インタビュー .....	16

令和7年12月13日(土)に  
しかわ保育園で「ぶなのもり発  
表会」を行いました。

写真は、年中・たいよう組の  
とっても可愛い劇「てぶくろ」の  
発表の様子です。



※上記二次元コードを  
スマートフォンな  
どで読み取ると、  
議会ホームページ  
にアクセスします。



令和7年第4回定例会に提出された主な議案

【条例案等】

議案番号	件名	議案の主な内容
承認第5号	令和7年度西川町一般会計補正予算(第3号)の専決処分	土木・農業用施設・林業施設の災害復旧経費の追加
議第49号	令和7年度西川中学校体育館空調設備設置工事請負契約の一部変更	設計の一部を変更して実施するための契約の変更
議第50号	西川町みどり住宅条例の設定	西川町若者定住促進住宅と西川町定住促進住宅を統合する条例を設定する。
議第51号	西川町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定	人事院勧告及び山形県人事委員会勧告に基づき、本町の一般職の職員等の給与の改正を行う。
議第52号	西川町議会議員及び西川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定	公職選挙法施行令の改正に伴い、規定の整備を図る。
議第57号	西川町社会体育施設条例の一部を改正する条例の制定	西川町民スキー場の索道事業の運営形態に合わせ、指定管理者に関する規定等の改正を行う。

【令和7年度各会計補正予算】

議案番号	会計	補正の主な内容	補正額	補正後の予算額
議第53号	一般会計(第4号)	公務災害補償費 15万円	999万円	92億8972万円
		児童福祉総務費 88万円		
		商工振興費(見守り対策移動販売事業者支援金) 150万円		
		遭難対策費(月山朝日山岳遭難対策活動補助金) 43万円		
		ハラスメント疑惑調査特別委員会 222万円		
		空き家除去支援補助金 150万円 その他 331万円		
議54号	国民健康保険特別会計(第2号)	総務費(システム改修委託費)	110万円	5億9528万円
第55号	後期高齢者医療特別会計(第2号)	総務費(システム改修委託費)	264万円	1億1112万円
第56号	介護保険特別会計(第2号)	総務費(システム改修委託費など)	88万円	7億8228万円

(万円単位表示にするため千円以下の端数を調整)

令和7年第4回定例会

第4回定例会が12月3日から9日までの会期で開催されました。今回も「啓翁桜議会」と銘打ち、会場には咲き始めの啓翁桜を配置し、議員・町職員が桜模様のネクタイやスカーフを身に付け、今年は企業版ふるさと納税で寄附していただいた啓翁桜法被を着て、日本一の生産量を誇る啓翁桜のPRを行いました。

条例案・補正予算案など9議案が提出され、慎重に審議した結果、全て可決いたしました。議案の一覧と審議結果は3ページの表を参照してください。

一般質問は6人の議員が9件について行いました。

下の二次元コードをスマートフォンで読み取ると、議会録画が視聴できます。

☆12月3日(水)・4日(木)



☆12月5日(金)・9日(火)



▲今年もよろしくお願いいたします

交流の大切さを胸に

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。平素は、町民の皆様より多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は夏の暑さや熊の異常な出没で大変な思いをされた方も多くおられたと思います。平穏な暮らしが出来ますよう願っております。

さて、月山湖にフェリシア月山カヌーセンターが完成し、人の交流が益々活発になってきております。

「ナショナルジオグラフィック」※が発表しました2026年に行くべき世界の旅行先25選において、日本から唯一、山形県が選ばれました。出羽三山の山伏修行や月山の夏スキーも含まれており、自然・文化・伝統が調和した山形ならではの魅力が紹介されています。この流れをチャンスと捉え、町民の皆様とともに活動してまいります。

議会では、昨年11月に政策提言を町に提出しました。今後も町民の声に耳を傾け、町と議論を重ねながら、より良いまちづくりのために務めてまいります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和8年が町民の皆様にとって明るい年となることをご祈念申し上げます。

議長 菅野邦比克  
副議長 佐藤耕二

大泉 奈美  
佐藤 光康  
佐藤 仁  
荒木 俊夫  
飯野 幹夫  
佐藤 大

※アメリカの有力な旅行メディア

## 遭難活動補助金 43万円

**問** 月山朝日山岳遭難対策活動補助金の内容はどのようなものですか。

**答** 素早い遭難救助活動を行うために、保険加入の体制整備を行うものです。



## 公務災害 15万円

**問** 公務災害補償費の内容と今後の対策をどのように考えていますか。

**答** 土木作業員の熱中症です。今後の対策としては  
①作業前体調確認  
②水分塩分の補給  
③通気性の良い服装着用  
④暑さ指数を把握した作業実施  
⑤休憩時間の確保  
⑥複数の作業員での実施  
などにて防止していきます。



## 見守り対策給付金 150万円

**問** 見守り対策移動販売事業者支援給付金は、当初予算でないのは、どのような主旨ですか。

**答** 事業者の方からは、買い物支援を含め通年にわたって、見守り活動を実施していただいておりますが、申請後に予算補正しています。



## 空き家除去支援 150万円

**問** 空き家除去支援事業補助金は何件の利用実績となっていますか。

**答** 一軒当たり50万円の補助金で、10件の利用実績、加えて3件の申請相談がありますので補正いたしました。



ここに  
注目

# 第4回定例会 啓翁桜議会議案

補正後の予算総額 **92億8972万円**

空き家除去の  
支援は？

子育て世帯の  
入居は？

遭難救助の  
活動は？

公務災害の  
対策は？



## 住宅条例の設定

**問** みどり住宅条例の設定で当町で大切な子育て世帯の入居者を優先する考えはありますか。

**答** 条例では設定していませんが、入居者を選定する際には優先することを考えて対応いたします。



## 災害復旧費 5000万円

**問** 9月17、18日の豪雨により発生した災害復旧費は、公共土木災害に該当しなかったのですか。

**答** 申請する測量設計費用が経費よりもオーバーするので、スピード対応を優先しました。







# そこが聞きたい

6人の議員が町政をたずねます

町政全般にわたり、その課題等について町の考え方や疑問をたずねるのが一般質問です。  
今回の第4回定例会では6人の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約してお伝えします。

## 質問事項 (発言順)

佐藤 大 議員 .....P7

- 1 町民スキー場の運営について

佐藤 仁 議員 .....P7

- 1 今後の町施設の整備計画と維持管理について

佐藤 耕二 議員 .....P8

- 1 高齢者世帯等除雪支援事業について

佐藤 光康 議員 .....P8

- 1 町の財政について
- 2 町立病院の外来受診と入院時のテレビ等の利用について

荒木 俊夫 議員 .....P9

- 1 人口対策について
- 2 農地の確保と農業の担い手対策について

大泉 奈美 議員 .....P9

- 1 地域力と住民パワーを活かした防災力をどう進めるか
- 2 来年度に向けた町のスポーツ全般の政策について

※第4回定例会の傍聴者は延べ9人でした。また、議会議中継でご覧いただいた皆さん、ありがとうございました！

### 町民スキー場の運営は

#### スキー場の経営

**問** 町がスキー場施設を所有し、民間の運営会社が営業をしています。そういった役割になっていますか。

**答** 町は昭和58年にスキー場を開設し、直営で営業していましたが、平成15年にリフト事業の経営権を、月山観光開発(株)に無償譲渡しました。その後は一定の補助金で運営支援を行っていました。

**問** スキー場や関連施設の維持管理は、現場管理者である同社の要請を受け、町が年度ごとに予算措置を行っていますか。

**答** スキー場や関連施設の維持管理は、現場管理者である同社の要請を受け、町が年度ごとに予算措置を行っています。

#### 今後の継続

**問** リフト支柱の耐用年数は何年ですか。

**答** 基礎を含む構造物としては45年で、あと3年です。

### 今後の町施設の整備計画と維持管理は

#### 若者居住用アパート

**問** 当初の計画では令和7年度実施設計8年度建設の予定でしたが、現状と今後の予定をお聞かせします。

**答** 空家の購入や提案型住宅への入居により町営住宅の空きが増加しています。一方で単身者用住居整備の要望もあることから、みどり住宅の入居要件を緩和する条例の設定を行うことで、新たな住宅整備の必要性が低減するために延期することになりました。

#### 道の駅にしかわ整備計画

**問** 道の駅にしかわの地ビール醸造・体験施設で計画変更の説明が9月定例会時にありましたが、現状と今後の方針をお聞かせします。

※町施設LED化についても質問しました。



▲計画のあった施設外観

さとう だい 議員  
佐藤 大

さとう ひとし 議員  
佐藤 仁





## さとう こうじ 佐藤 耕二 議員

### 高齢者世帯等除雪支援事業は

#### 除雪費の補助

**問** この支援事業に、除雪機を利用している単独で除雪をしている方へ、ガソリン等の除雪費を補助する条項を追加する考えはありますか。

**答** 健康福祉課職員の事務作業を減らすことも大事なので、バックヤード業務をするために委託しました。今年度は社会福祉協議会に町職員を外向させて業務します。

ではないですか。

**答** この事業は除雪に困難をかかえているなど、冬季間に生活の安全の確保に緊急性の高い世帯を対象にしています。除雪機を使用して、自力でできる方は対象になりません。特定の方に補助をする公平性にかけますので考えていません。

#### 国の交付金

**問** 豪雪地帯安全確保緊急対策交付金を活用して、高齢者世帯へさらなる支援をしてはどうですか。

**答** 現在は考えていませんが、事業の要綱にある克雪方針の策定に配慮して、町の除雪支援事業が補助対象になることが可能のよう記載していきます。

#### 西川町総合開発(株)に委託

**問** 事務手続き等を総合開発(株)に793万円で委託しています。福祉関係は健康福祉課が中心になるべき



## さとう みつやす 佐藤 光康 議員

### 町の実質公債費比率は

#### 実質公債費比率

**問** 令和6年度とその5年後の町の実質公債費比率はいくらですか。上昇する理由は何ですか。

**答** 令和6年度決算時における実質公債費比率は11.2%、令和12年度は16.9%の見込みです。令和4年度からのハード設備の借り入れた分の元金償還が令和8年度から始まるからです。

### 町立病院の外来受診と

#### 入院時のテレビ等利用は

#### 発熱等の外来受診

**問** 町立病院の発熱、風邪症状のある患者さんの対応は、午後の決まった時間に限定されていますが、その理由は何ですか。

**問** 町立病院に入院時のテレビ、冷蔵庫利用の支払いが1日275円の定額制にした理由はありますか。

**答** テレビ、冷蔵庫の看護師の現金取り扱いの業務見直しを図ったものです。

**答** 午前中は予約で多くの患者さんがおられます。外来の患者さんが滞らないように、午後の時間に来ていただくというお願いをしています。

### 人口対策は

#### 住宅対策

**問** 人口確保のための住宅対策はどうなっていますか。

**答** みどり住宅地や吉川地内に町営の集合住宅を整備してきました。今後の住宅整備計画はありません。

#### 婚活支援対策

**問** 婚活支援について民間の支援等を受けて取り組むべきではないですか。

**答** 広域連携での事業や結婚支援センターの活用を推進しています。

### 農地確保農業担い手対策は

#### 農地の集約

**問** 農地の集約は進んでいますか。

**答** 例えば、国の産地化交付金に町独自に上乗せし、農地の集約を推進しています。農地を委譲したい人には丁寧に対応しています。

#### 農業の担い手対策

**問** 農業の担い手対策はどうなっていますか。

**答** 地域計画を作成しながら進めています。半農半X(別の仕事をしながら農業に従事する)など多様な方法で農業従事者の確保を目指していきます。

### 地域力と住民パワーを活かした防災力は

#### ハザードマップ

**問** 令和2年度に全戸に配布したハザードマップの周知確認のため、タブレットでアンケート調査をしてはどうでしょうか。

**答** 防災ハザードマップについて、令和6年度県が町内の浸水想定区域を追加したところなどを踏まえ、令和8年度の改定を予定しています。各戸配布のタブレットでアンケートを実施し、マップの周知や有効活用につなげていきたいと思っています。



#### 防災士

**問** 西川町の防災士の人数は何名ですか。

**答** 各機関に問い合わせたところ総数は22名です。自主防災組織推薦で取得した方は11名です。

#### 活動ビブス(ベスト)

**問** 災害時緊急避難場所や避難所に住民が避難してきた場合地区の役割が分かるように活動ビブスを配布してはどうでしょうか。

※スポーツ全般の政策についても質問しました。



## あらき としお 荒木 俊夫 議員





# 町民と議会の 対話の集い



## スポーツ団体のみなさんと



令和7年11月17日にスポーツ団体のみなさんと対話の集いを開催し、多くのご意見をいただきました。今回の議会だよりでは、対話の集いでの主な意見等を紹介します。

### 西川エクササイズ

#### ★参加者から

スポーツ推進委員で広めるように言われています西川エクササイズが、よく理解できていません。

#### ☆議会から

西川エクササイズはタブレットで見られますが、容量が少ないと見られない所があります。

作って補助金をもらおうと終わりではなく、普及することが目的ですから、行政側に話をします。

### カヌー

#### ★参加者から

西川町カヌー協会は山形県カヌー協会と一緒に活動しています。西川町から強い選手が出るのは、旧沼山小学校で子どもたちのカヌー教室をやったおかげかと思います。カヌーセンターを有効利用するために、県の協会と一緒に頑張っていこうと思います。

#### ☆議会から

カヌー艇庫が出来ましたが、湖月山荘の車庫がないと資材が置けないのですか。

また、部活動の地域移行にあたり、カヌーをやりたい町外の子どもたちを受け入れて部活動をやってもらう考えはありますか。

#### ★参加者から

湖月山荘はレーンの浮きとかモーターボートを置いています。

地域移行については、一昨年より県カヌー協会の寒河江西村山管内で作っているクラブに加入していただければと思います。

### 町民スキー場

#### ★参加者から

町民スキー場は「今年度の営業はします」と聞いていますが、突然できないと、月山観光開発(株)から申し入れがあったことを聞いた時はショックでした。今後も継続できる対策を考えてほしいと思います。

#### ★参加者から

教育委員会では、町のスポーツ振興は「カヌーとスキー」と言っています。いまさら無くすことは無い。スキー場は残してもらいたいと考えます。

#### ☆議会から

町にはリフトの運行管理者がいないので、月山観光開発(株)に頼むしかありません。やらないことは突然聞いたので詳細は分かりません。

今後追及していきたいと思います。

#### ☆議会から

リフトの設備は町所有ですが、営業権のある月山観光開発(株)がリフトを動かさないと運営できません。町からは660万円の索道補助金を出しています。採算が合わないからやめると言っているのかもしれませんが、町との折り合いがつかなければスキー場は成り立たなくなります。

### 地域移行

#### ★参加者から

部活動の地域移行は、「町も議員も支援する」「町財政として予算を組む」「補助金があれば、獲得して回す」そんなやり方で、やるという気持ちになっていただきたい。

活発なご意見ありがとうございました。



# 特集 ハラスメント疑惑 調査特別委員会報告

## 委員長報告

9月と10月に現・元町職員、町民、議員の方、計16人の証人尋問を行いました。これらを受け、役場庁舎内で10月30日に菅野町長の証人尋問を実施しました。傍聴人44名が見守る中、10時から16時までの長時間に渡る証人尋問になりました。

これまでに20回の特別委員会を開催してきましたが、現在は証人尋問の内容と前段に実施したアンケート内容を精査しているところです。

調査結果は、2月中に報告できるよう進めていきます。

委員長 佐藤 耕二

## 経過

10月21日	第12回ハラスメント疑惑調査特別委員会 証人尋問内容の検討
10月27日	第13回ハラスメント疑惑調査特別委員会 証人尋問内容の検討
10月30日	第14回ハラスメント疑惑調査特別委員会 町長の証人尋問
11月7日	第15回ハラスメント疑惑調査特別委員会 調査内容を精査
11月11日	第16回ハラスメント疑惑調査特別委員会 調査内容を精査
11月17日	第17回ハラスメント疑惑調査特別委員会 飯野委員の委員辞職について
11月25日	第18回ハラスメント疑惑調査特別委員会 調査内容を精査
12月9日	第4回定例会 ハラスメント疑惑調査特別委員会補正予算 可決
12月12日	第19回ハラスメント疑惑調査特別委員会 調査内容の精査及び報告書協議
1月13日	第20回ハラスメント疑惑調査特別委員会 調査内容の精査及び報告書協議

## 連絡先

ハラスメント疑惑調査特別委員会に対する町民からのご意見は、下記の議会事務局メールで承ります。

[giji@town.nishikawa.yamagata.jp](mailto:giji@town.nishikawa.yamagata.jp)

# おおむね適正、しかし課題あり

議会による今年度の行政評価は、6年度に町が実施した事業のうち9事業について4つの視点ごとに各15点、合計60点満点で評価しました。その結果を掲載します。評価に関する意見を記した評価シートは、議会ホームページに掲載しているほか議会事務局で閲覧可能です。



## 評価及び提言の目的

議会が担っている行政の取り組みをチェックする機能を果たし、更には議員による政策形成を進め町の施策推進に寄与するために、西川町議会基本条例(平成25年3月町条例第13号)に基づき、事務事業評価及び政策提言を行います。

令和6年度事業  
行政評価  
【事務事業評価】

## 評価のための4つの視点

### 必要性

・町民に必要な事業か ・社会情勢から実施が適切か ・町が主体となって関与すべきか

### 妥当性

・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べ適切か ・町民目線として適切か

### 効率性

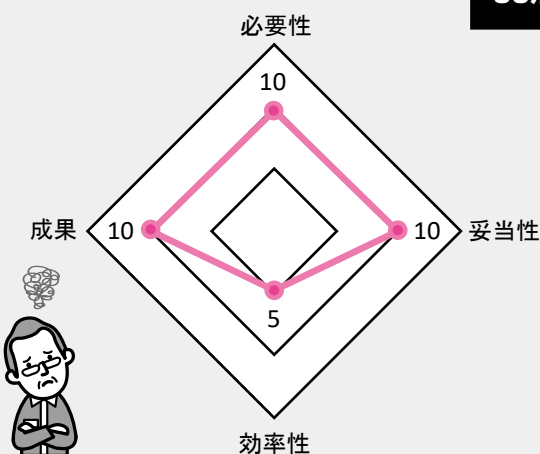
・事業の手法は効率が良いか ・受益者負担は適正か ・コスト削減の余地はないか

### 成果

・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか

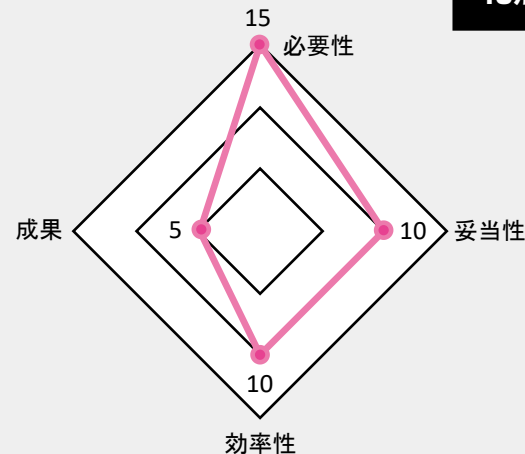
### ① 移住定住

35点



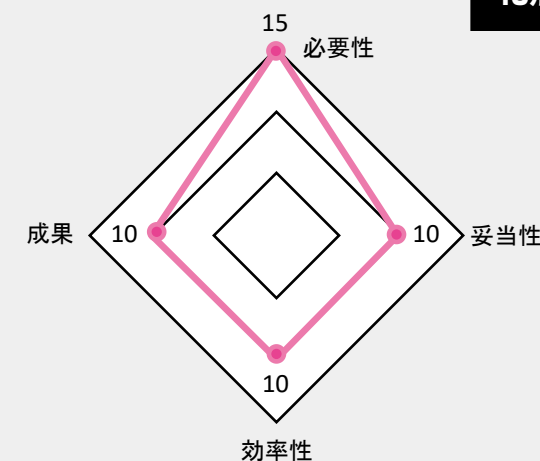
### ② 豪雪地帯安全確保緊急対策

40点



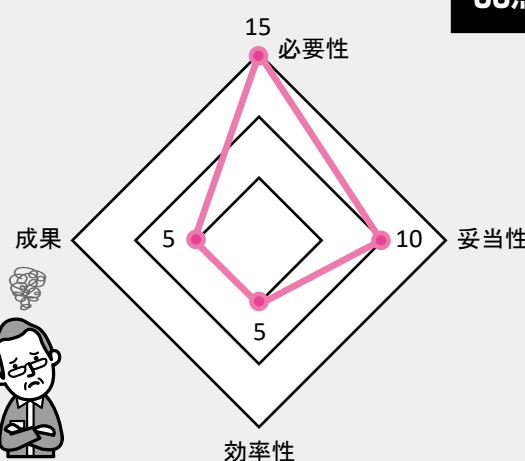
### ③ 高齢者世帯等除雪支援

45点



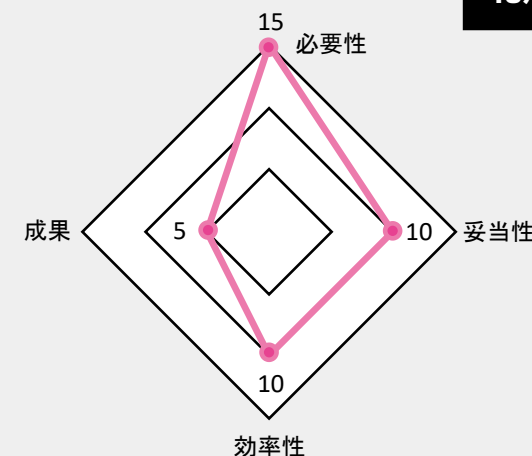
### ④ 交流センターあいべ管理運営

35点



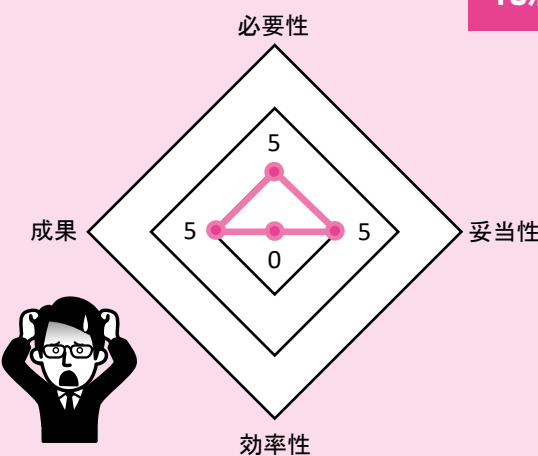
### ⑤ 農業振興担い手育成

40点



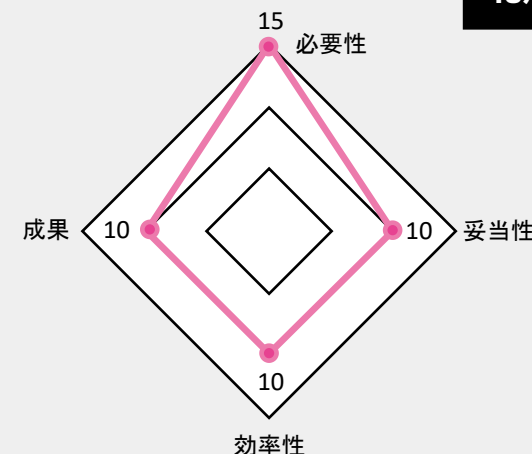
### ⑥ 仁田山放牧事業

15点



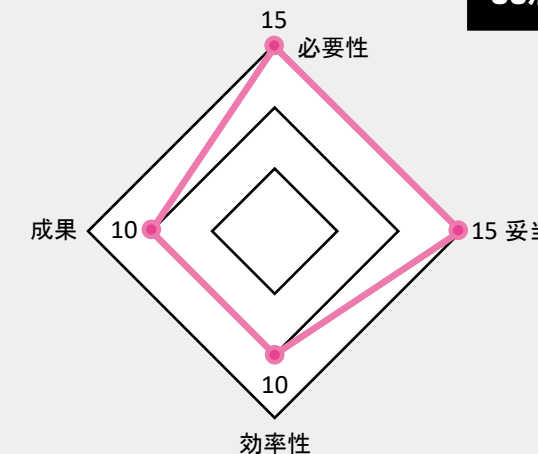
### ⑦ 西川町かせぐ事業

45点



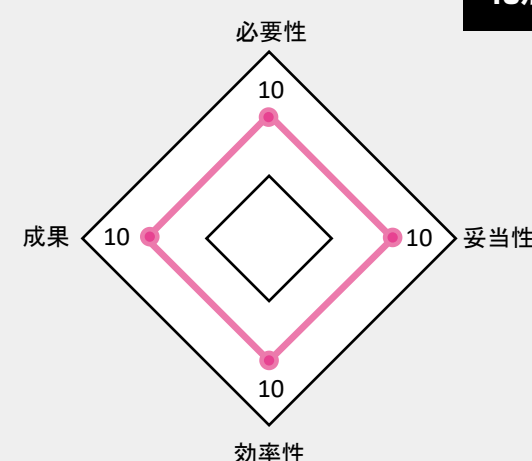
### ⑧ 寒河江ダム関係

50点



### ⑨ マイロード整備

40点



## 主なコメント

総務厚生・産業建設常任委員会で各事業が適正に実施されているのか現地確認を行って、必要・効率・妥当性を検証し評価いたしました。

- ① 売買・賃貸契約等の業務は、専門家に委ねるシステムが必要である。
- ④ 月山朝日観光協会に委託しているが、管理運営の経費が妥当か不明である。
- ⑤ 農業人フェア以外での声かけなど拡充した取り組みが必要である。
- ⑥ 経営にかかる費用が収入より大幅に上回っており、効率が悪く、町内に受益者がいないことから、政策提言といたしました。15ページをご覧ください。
- ⑧ 大噴水の認知度も高く、カヌーセンターがオープンして新たなアクティビティに誘客も期待できるが、水の文化館・湖月山荘の利用方法を考えるべきである。



# 令和7年度 政策提言

## 議会活動の成果を提言に

### 議会から町へ政策提言書を提出

#### 放課後子ども教室・病弱学級について



##### I 提言の背景・趣旨

町は人口減少・少子高齢化対策については積極的に各施策を進めています。第7次西川町総合計画でも第3章で「出産・子育てしやすい地域を本気で目指す」と謳っています。しっかりと計画に沿いながら、子育て世代が住みやすいまちづくりが重要で、そのためには子育て環境の整備が必須の条件であります。

##### II 提言内容

子育てしながら働きやすい環境をつくるために、町が推進している

##### 1. 放課後子ども教室の充実

(1)放課後子ども教室は、安全安心な子供の居場所づくりと、保護者の働く環境づくりを実現しています。また、保護者にとっては小学校

施設内にあることと、料金が無料であり経済的負担がなく子育て環境づくりに大いに貢献しています。しかし、活動を支える職員の給与や職員数等の待遇を改善する必要があります。

(2)充実した活動を行うために、事務費等を増額する必要があります。

(3)主な活動拠点である教室が狭く、30～40人を受け入れるには学校の有効活用を図る必要があります。

##### 2. 病弱学級の支援体制の充実

障害があるなしに関係なく多くの子供が一緒に学べることは、人



▲11月27日、菅野町長に政策提言を提出

#### 仁田山放牧場について

##### I 提言の背景・趣旨

仁田山放牧場は、昭和44年に完成し、翌年の45年から放牧を開始して以来、55年という長きにわたり牧場の設置目的である「本町における畜産の振興を図る」に大きく貢献してきました。しかし近年においては、畜産農家の減少により放牧頭数の減少が進んでいま

##### II 提言内容

仁田山放牧場に要する経費について、事務事業評価及び現地視察を行ったうえで、次のとおり提言いたします。

1. 設備や事業について

(1)近年は放牧受け入れ頭数の減少に歯止めが掛かっておらず、また、町内唯一の畜産関係者においては、今後放牧の予定がないなどを踏まえ、閉牧も含めた判断が必要な時期と考えます。

##### 2. 施設の活用について

(1)べっここ館などの現在ある施設建物の新たな活用方法により、素晴らしい自然環境を生かした環境整備ができないか寒河江ダム周辺の施設と合わせて検討を進めていただきたいと考えます。

(2)施設そのものの売却も含めて、今後検討いただきたい。

#### 広報広聴常任委員会 研修レポート

令和7年10月20日(木)山形県川西町に行きました。

「かわにし議会だより」は全国コンクールで平成22年から、15年連続表彰されています。

編集にあたっては編集計画に従って作成されました。町民からの意見収集は、イベント会場のインタビュアー文章・写真アドバイザーから助言をいただき、見出しで読ませる工夫などをしていくとの説明がありました。今後の編集の参考になった研修でした。



▲研修の様子

#### 議会の動き

##### 議会全員協議会

- 12月3日 バイオマス発電施設の整備ほか
- 11月25日 令和7年第4回定例会の協議
- 12月5日 第4回定例会追加議案の協議
- 12月25日 令和8年度第1回臨時会の協議

##### 総務厚生常任委員会

- 10月6日 事務事業評価、政策提言協議
- 10月14日 事務事業評価、政策提言協議
- 11月11日 合同政策提言協議
- 12月8日 令和8年所管事務等について

##### 産業建設常任委員会

- 10月8日 所管事務事業調査
- 10月15日 事務事業評価、政策提言協議
- 11月11日 合同政策提言協議
- 12月8日 令和8年所管事務等について

##### 広報広聴常任委員会

- 12月7日 議会だより135号の編集会議
- 12月15日 入稿前編集会議
- 12月18日 第1回校正
- 12月23日 第2回校正
- 12月25日 第3回校正
- 1月7日 第4回校正、校了

議会傍聴のご案内 | 次期定例会は3月です。(3月3日からの予定)



# 突撃インタビュー

啓翁桜生産者  
志田 修さん  
(弓張平)



平成12年から啓翁桜づくりをしました。6～7万本を生産していますが、10万本出荷を目指しています。西川町が日本一の啓翁桜産地を継続できるように頑張ります。

人間のそば祭りにて  
大泉 美代さん  
(入間)



サロンdeいりまるでスタッフをしています。今年も元気に、楽しく地域の事業に参加できれば良いと思います。

農業者(花卉・果樹ほか)  
東京都出身  
関家 広さん(熊野)



地域おこし協力隊の任期を終え西川町に移住し、令和6年から桃を植栽し令和9年からの出荷を目指します。また、ワイン用ぶどうは8年に植栽予定で、夏はつるむらさきの出荷、啓翁桜は7年から出荷し将来は2haの栽培を目指します。

西川小学校校長  
林 敏幸さん



昨年は大雪に始まり、熱中症とか熊であるとか、インフルエンザの流行とか、危機対応の難しい年でした。幸い子どもたちは元気に健やかに育っています。今年は穏やかな年になればよいと思っています。町民スキー場は存続していただいて、子どもたちの楽しみのスキーが存分にできるようになることを祈っています。



今年の発表会のオープニングは、年長(そら組)17人による獅子舞&和太鼓で始まりました。続いて年少(かぜ組)16人によるお遊戯、年中(たいよう組)23人による劇『てぶくろ』、年長(そら組)17人によるオペレッタ風劇『さんまのおふだ』そして、エンディングは全員で、歌『ぼよん行進曲』を発表してくれました。練習した成果を家族の方々から見守られ楽しく、そして素晴らしい発表会でした。

表紙から

1コマ



編集後記

明けましておめでとございます。

12月定例会は、西川町が日本一の生産量を誇る啓翁桜に包まれ、桜模様のネクタイとポケットチーフそしてスカarfを身に着け、「啓翁桜議会」として開催されました。生産者の皆さんにご尽力いただき感謝申し上げます。

さて、昨年は、異常気象による猛暑、そして9月の豪雨による災害など大変な年でした。

今年は午年で、午は活力・情熱・行動力の象徴とされています。西川町議会も明るく前向きにエネルギー溢れる気持ちで活動していきます。皆さんにとって実り多い年になりますようご祈念いたします。(佐藤 仁)

《発行・編集責任者》

議長 菅野邦比克

《編集委員》

委員長 飯野 幹夫

副委員長 大泉 奈美

委員 佐藤 大

委員 佐藤 大